

妊婦さん向け

アールエス

# RSウイルスワクチンのお知らせ

～令和8年4月1日から定期接種開始～

## 【定期接種対象者（無料接種期間）】

接種時点で大阪市民であり、

**妊娠 28 週から 37 週に至るまでの方**

（妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日までの方）



- ・過去の妊娠時にRSウイルスワクチン（母子免疫ワクチン）を接種したことがある方も対象です。
- ・接種後 14 日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠 38 週 6 日までに出産を予定している場合は医師に相談してください。

## 1 RSウイルス感染症について

RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症で、乳幼児から大人まで誰もが感染します。2歳までにほぼすべての乳幼児が一度は感染し、その後も一生の間に何度も感染します。

症状は、発熱、鼻水、咳などが数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

RSウイルス感染症で医療機関を受診した2歳未満の乳幼児のうち、約4人に1人が入院し、特に生後6か月未満で感染すると重症化しやすいと言われています。

## 2 RSウイルスワクチンについて

RSウイルス感染症による下気道疾患（細気管支炎・肺炎等）を予防する組換え（不活化）ワクチンです。

妊婦が接種すると、RSウイルスに対する抗体が体内で作られ、この抗体が胎盤を通じて胎児へ移行することで免疫（母子免疫）がつけます。



予防効果（医療機関受診を必要とした感染症）	生後3か月時点	生後6か月時点
下気道感染症の予防	6割程度	5割程度
重症下気道感染症の予防	8割程度	7割程度

## 3 副反応について

主な副反応は注射した部位の痛み（疼痛）（40.6%）、赤くなる（紅斑）・腫れる（腫脹）（10%未満）で、全身的な反応としては頭痛（31.0%）、筋肉痛（26.5%）、発疹・じんましんがあります。また、頻度は不明ですが、重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー\*があらわれることがあります。

※アナフィラキシーとは、接種後30分以内におこるアレルギー反応で、ショック状態になるような激しい全身反応のことをいいます。



## 4 予防接種を受けに行く前に

このリーフレットの説明をよくお読みいただき、予防接種の内容についてよく理解し、接種してください。予防接種は体調の良いときに受けることが原則です。気になることやわからないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師に質問しましょう。予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。現在、病気などで治療中の方、今までに免疫状態の異常を指摘されたことがある方は、担当医師とよく相談し、十分に納得して接種を受けましょう。

### 【予防接種を受けることができない方】

- (1) 明らかに発熱のある人（一般的に体温が37.5℃以上の場合をいいます）
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- (3) 予防接種に含まれる成分でアナフィラキシー\*を起こしたことがある人
- (4) その他、医師が不適当な状態と判断した人  
(現在、病気などで治療中の方は主治医にご相談ください。)



## 5 予防接種の受け方

- (1) 予約は、大阪市ホームページに記載されている医療機関へ電話などで申し込んでください。



RSウイルスワクチン  
について

里帰り出産等で大阪市外の医療機関で定期接種を受ける場合、手続きが必要になる場合があります。大阪市ホームページ「大阪市外の医療機関で定期接種を受ける場合について」をご覧ください、接種予定の医療機関にご相談ください。

大阪市外の医療機関で  
定期接種を受ける場合



- (2) 接種当日は、「母子健康手帳」をご持参ください。予約日時に医療機関に行き、医療機関に置いてある「予診票」と「予防接種実施申込書」に必要事項をご記入ください。
- (3) 医師の診察により、接種できるかどうかの判定を行います。その結果、接種できるときには改めて接種を受けるかどうかの確認を行い、サインをいただいてから接種します。
- (4) 接種費用は無料です。  
(ただし接種対象期間外の接種は任意接種となり、費用は自己負担になります)



## 6 予防接種を受けたあとの注意

- (1) 接種後30分は体調が変化することがありますので、医師とすぐに連絡がとれるようにしましょう。
- (2) 接種後1週間は副反応の出現に注意し、注射部位の腫れ、高熱、嘔吐、けいれん、その他変わったことがあるときは、すみやかに医師の診断を受けましょう。
- (3) 入浴はさしつかえありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
- (4) 接種当日は体調の変化に気を配り、激しい運動は控えましょう。  
※予診票の副票は大切に保管しておいてください。

### 【各区保健福祉センター問い合わせ先】

保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号
北区	06-6313-9882	天王寺区	06-6774-9882	城東区	06-6930-9882
都島区	06-6882-9882	浪速区	06-6647-9882	鶴見区	06-6915-9882
福島区	06-6464-9882	西淀川区	06-6478-9882	阿倍野区	06-6622-9882
此花区	06-6466-9882	淀川区	06-6308-9882	住之江区	06-6682-9882
中央区	06-6267-9882	東淀川区	06-4809-9882	住吉区	06-6694-9882
西区	06-6532-9882	東成区	06-6977-9882	東住吉区	06-4399-9882
港区	06-6576-9882	生野区	06-6715-9882	平野区	06-4302-9882
大正区	06-4394-9882	旭区	06-6957-9882	西成区	06-6659-9882

令和8年4月1日から妊婦さん向け定期接種開始

アールエス

# RSウイルスワクチン予防接種

## RSウイルス感染症とは？

RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症で、症状は風邪のようなものから重い肺炎までさまざまです。2歳までにほぼすべての乳幼児が一度は感染し、その後も一生の間に何度も感染します。初めて感染した乳幼児の約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難など重症化することがあります。特に生後6か月未満で感染すると重症化しやすいと言われています。

## どんなワクチン？

妊娠中に接種することで、生まれてくる赤ちゃんに免疫（母子免疫）がつき、RSウイルスを原因とする気管支炎や肺炎等の病気の重症化を予防します。

重症化の予防効果は生後3か月時点で約8割、生後6か月時点で約7割と報告されています。



## 【定期接種対象者（無料接種期間）】

令和8年4月1日以降、接種時点で大阪市民であり、**妊娠28週から37週に至るまでの方**  
(妊娠28週0日から36週6日までの方)



詳しくはこちら

大阪市 RSウイルス ワクチン

検索

